

中堅現職研修

本研修会は、私学の「中堅教師」とよばれるキャリアと実践を積み重ねてこられた先生方のこれからの歩みにお役立ていただける「ふたつの力」を養う研修会です。ひとつ目は、建学の精神に立ち返り、かつ教育を取りまく現実、そして未来をしっかりと見据える力、ふたつ目は、「自校」という蛸壺に留まらず、同時代を生きる他の私学の仲間と繋がり生きる力です。この研修会は、教員としての生き甲斐・働き甲斐と共に、ふと感じるマンネリ感も否めない先生方に、このふたつの力を養っていただき、学校づくりへの新たな **passion** を引き出しあう研修会です。ここでの学びと出会いが、私学の教師としての **mission** への深い気づきと実践意欲、そして「中堅現職同窓会」にも広がりを見せている仲間同士の深い繋がりをもたらすものとなるでしょう。

多種多様な講座や座学に留まらない体験的学習そして分散会、3日間を通じて得られる参加者同士の交流も含め、今年も一段と充実させた内容にどうぞご期待ください。自らを磨き、高め合うことのできる内容をご用意いたしております。

お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申しあげます。

1. 会 期 **8月7日（金）・8日（土）・9日（日）の2泊3日（現地集合・現地解散）**
2. 会 場 「**NASPA ニューオータニ**」上越新幹線「越後湯沢駅」下車、ホテル送迎バスで3分
〒949-6101 新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢 2117-9 TEL：025-780-6111
<http://www.naspa.co.jp>（会場の様子等ご確認ください）
3. 募集定員 **30名**（都内各私立中学高校の教諭、主任・部長ほか。1校何名でも可、先着順に受け付けます）＜昨年度の参加者の平均年齢は、39.1歳でした＞
4. 参加費 1名につき**36,000円**（宿泊費・食費・資料代など）
5. 日 程 8月7日（金） 10：30受付開始 11：00開会式
 8月9日（日）16：30閉会式終了

時間 月日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
8月7日（金）			受 付	開 会 式	エ ン カ ウ ン タ ー	昼 食	講 座 ①	休 憩	分 散 会 ①	休 憩	夕 食
8月8日（土）	朝 食	講 座 ②		分 散 会 ②	昼 食	講 座 ③	分 散 会 ③	休 憩	講 座 ④	休 憩	夕 食
8月9日（日）	朝 食	講 座 ⑤	休 憩	分 散 会 ⑤	昼 食	分 か ち 合 い		閉 会 式	解 散		

6. 研修内容

・エンカウンター

原田 泰 宏（東京純心女子中学高等学校教頭）
白髪 美由樹（東洋女子高等学校教諭）

・講座①「これからの私学に求められるキャリア教育のあり方」

^{こみかわ こういちろう}
児美川 孝一郎 法政大学キャリアデザイン学部教授

子どもたち一人ひとりがより幸福な人生を送っていくことができるようにするためにも、キャリア教育（学校教育と職業や人材育成との連関）は非常に重要な課題です。グローバル化や知識基盤社会の到来、就業構造・雇用慣行の変化等により新たな課題も生じている中、現実の日本の雇用情勢を踏まえ、これからの私学に求められるキャリア教育のあり方について示唆を得ます。

・講座②「保護者に課題のある子どもたちに対する学校教員のやれること・やれないこと」

^{たなか むつみ}
田中 睦美 子ども家庭支援センター 子ども家庭相談員

教員は生徒や保護者を中心に、絶えず人と接している仕事です。ですから人間関係づくりのプロでなければなりません。この講座では、アンガーマネジメント等の手法を通じ、他者との関わりにおいて適切な表現や問題解決ができる力を学びます。また保護者対応において、教員はどこまでが実際に関わることであるのかも考えます。

・講座③「私学の危機管理 ～裁判例の分析を通じて～」

^{さかた たかし}
坂田 仰 日本女子大学教授

学校の危機管理の観点から、学校が抱えている現実を判例を基に、わかりやすくお話しをいただきます。保護者や地域の理解を得つつ、問題発生時に適切な対応を行うにはどのような事前の準備が必要なのか。これから学校を担う先生方には是非とも学んでいただきたい内容です。

・講座④「フィジカルボイストレーニング」

^{たまざわ あきひと}
玉澤 明人 日本フィジカルボイス協会理事長

声の抑揚を上手にコントロールすることで生徒への伝わり方が大きく変わります。また自己の発声法を見直すことで、喉への負担を減らし、長時間話しても疲れなくなります。この講座では発声の専門家である玉澤先生に「声を出すための筋肉」の正しいトレーニング法を学びます。教師生活に欠かせない基礎トレーニングのひとつです。

・講座⑤「東京の私立学校と、私学協会の関わりを考える<将来の私学を担う中堅現職の皆さんへ>」

^{さねよし つねお}
實吉 幹夫 東京私立中学高等学校協会 副会長

私学を取り巻く環境の厳しさと不安が渦巻く中、私学協会と私立学校はどのような関わりを持ち、どのように支え合っているのか。未来からの留学生に対して、よりよい教育環境を構築するため、また私学人としての意識や役割を一層高めるため、私学の将来を担う「中堅現職」の皆さんに、協会副会長として、一私学の理事長・校長としてもその思いを語りかけます。

・分散会

講座①～⑤（④を除く）の後で、グループに分かれ約1時間、講師と現職の校長等が協議に加わり、参加者と意見交換をいたします。

・「フリートーク」（自由参加：夜8時30頃～10時を予定）

参加者が抱える問題を、参加者同志で考えます。そして、問題の共有化と解決に向けての糸口を探ります。現役の校長等も加わり、白熱すれば、続きは各部屋で心行くまで議論をしていただきます。

・「分かち合い」（3日目午後）

この研修会を通し、何を感じ何を思ったのか、研修会最終日に一人一人の発言を参加者全員で分かち合い、研修の成果を共有いたします。そして、単なる研修会を脱し、将来への行動と連帯意識の形成を目指します。

7. 委 員 委員長 實 吉 幹 夫（東京女子学園中学高等学校理事長校長）
加 川 紀代子（前学習院女子中等科高等科長）
滝 口 佳津江（田園調布雙葉中学高等学校長）
須 藤 勉（東京学園高等学校副校長）
原 田 泰 宏（東京純心女子中学高等学校教頭）
白 髪 美由樹（東洋女子高等学校教諭）